Japan			社会人学生			0	ブロック大会					男子 女子	試合 番号		女	3	3 6		
Handba		\vdash	高専				都道府県大会												
Association 高体連																			
中体連										2024 ==							$\overline{}$		
小学生									月日		2024 年	3	月	27	日		水		
										大会名	令和	和5年度 第47回全	国高等学校	ハンドボ-	-ル選抜大会	Presei	nted b	y MIZ	UNO
					公	Ī	ţ	=		録		用 紙							
A 神戸星城高等学校					ζ					富田高等学校					В			В	
都道府県 市町村 会場 三重県 津市 サフ						オリーナ メインAコート									^{回戦} 準々決勝				
	Α	В		1	4	В					В		4	В		_	4		3
前半	24	9	最終 結果	4	2	15		1 長				第 2 延長			7mスロー コンテスト				
		Α			イムアウ							チームター			В		· ·		
7m得点	点/総数	0/1	1 2534	2	3						1 2 後 3 1012 1133 2520			520	0/1	7m得点/総数			
No.		神戸星			G	W	2'	D	DR	No.		富田	3		G	W	2'	D	DR
10		飯田 空			10					1		野村 季							
12	由井 美羽								2 c		家垣 和佳								
17	中野 柚季				2					3		今井田 愛珠							
20 c	向 理緒				9					5		野田 菜摘			2				
21	伊原 泉				1					6		恒川結凪							
23	北和香奈				8					7		近藤 陽菜多			_				
24	中山 果凜				3 9	-				8	石原 璃子			2					
28 30	濱口 杏奈 豊島 愛海				9	1				10		野村 優			2				
30	豆局 多牌									11		西川 佳歩			-				
										12		後藤 栞奈							
										13		長屋 優衣							
										14		小川 沙耶香			3				
										15		渡嘉敷 千夏			2		1		
										16	大屋 琉生								
監督A		野	路 良子							監督A		 鳥/	舌 正嗣]					
役員B	長谷川 諒				\top				役員 B										
役員C	洪 徳顯								役員C										
役員D		野	路 嗣治							役員D									
Α						チーム役員A署名									E	3			
特記事	 項					_						ı							\neg
レフェリ-	_		島村 祐輔				児玉 真太郎												
TD			玉田 浩史				加藤 智史												
МО			永春文義																
		得点(G),警告(\	W),ì	退場(2),失格	₹(D)	,報告	書信	寸き失格(DR)特記事項に執	告書とし	で内	容を記入				—



MO

永春文義

Japan Handball Association

記 録 用 紙ランニングスコア

試合番号

女36

10

32 10 38



令和5年度 第47回全国高等学校ハンドボール選抜大会 Presented by MIZUNO

試合結果・戦評報告書

競技日	3月27日 (水)会場	サオリー	Aコート						
種別	女	7	回戦	準々決勝						
	A チーム	名	·	Bチーム名						
才	伸戸星城高	等学核	ξ	富田高等学校						
得] 点合計	小計	piri	od	小計		得点合計			
		24	前	半	9					
		18	後							
	1		第1延	長前半			4 —			
	12		第1延	長後半			15			
	1		第2延				T			
			第2延							
			7 m	ТС						
戦	評			記載者氏名 重松摩耶						

富田のスローオフで始まった第3試合は、開始30秒過ぎ富田No.10大矢がサイドシュートを決めるも、すぐさま神戸星城No.24中山がポストシュートを決めるなど序盤から1点を取り合う展開となった。3分、神戸星城は3-3の同点に追いつくと、No.20向のサイドシュートや、カットからの速攻などで着実に加点し、10分には8-3と5点差にまで持っていく。この流れを断ち切りたい富田はタイムアウトを取ると、No.15渡嘉敷が得点するも、神戸星城の堅守に阻まれその後の流れをつかみきれない。逆に神戸星城はNo.24中山のポストシュートやNo.10飯田のサイドシュート、No.20向の速攻など一挙に6点を連取するなど相手を大きく引き離していく。富田も果敢に攻め続け、No.14小川やNo.10大矢が得点し、GKNo.16大屋のナイスセーブが光るも、神戸星城は速攻やサイドシュートを中心に着々と加点し、24-9で神戸星城が大きくリードして前半を折り返す。

後半立ち上がり、富田は積極的にゴールを狙うが、神戸星城GKNo.30豊島がナイスセーブを連発し、なかなか得点につなげることができない。一方、神戸星城は、前半の勢いそのままに、流れるようなプレーで多彩に攻め続け、着実に点を取り続ける。富田は最後まで粘り強く走り続けたが、42-15で神戸星城が圧勝し、準決勝進出を決めた。